

デジタルプリントが果たすべき、芸術表現の 展開の可能性についての研究

芸術学部
ビジュアルデザイン学科
教授

西川 洋一郎



研究シーズの紹介

デジタル印刷とアナログ印刷技法(リトグラフ・シルクスクリーン)を用いたコンビネーションプリントの表現の多様性を主題として研究を継続している。従来はリトグラフとの組み合わせのみであったが、本学のシルクスクリーン工房を活用すること

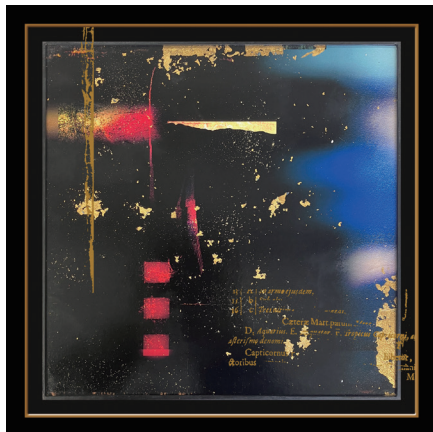
で新しい版種を組み合わせることが可能となった。さまざまな素材にプリントが出来るシルクスクリーン印刷の特性を生かし、例えば透明なアクリル板にイメージの一部を刷り込み、多層的な表現を研究する。



芸術表現技術

- 印刷技術を美術の表現様式に定着させることが可能です。

コンビネーションプリント: 印刷技術の進化と芸術表現 / デジタルプリントの芸術的可能性



期待される活用シーン

- 美術館、自室などへの美術品の展示、所有



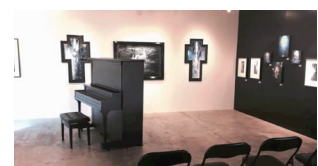
芸術的な時間、空間、体験がもたらす、人としての豊かな生き方を実現する



- 本シーズの活用先が求めていることを記入



日常的な美術への接近による豊かな社会の構築



その他の研究テーマ